



## 一中校区の学校整備 山本市長は公約の「小中別の整備」推進を

1月11日、議会全員協議会が開催され、市から「第一中学校区における学校施設整備の新たな提案」が説明されました。

山本市長は、市長選挙の公約で掲げた一中校区の「施設一体型小中一貫校でなく小中別の整備」を進めることを10月議会で所信表明し、11月の全員協議会では、「小中別の整備」と従来計画の事業費や工期を比較し、保護者や市民、議会の意見を聞いて判断していくとしています。その後、12月に市長説明会やPTA説明会などが行われました。



1月11日の全員協議会では、市から「新たな提案」として、施設一体型小中一

貫校の隣接地等を活用し、現計画よりも広いグラウンドを確保し、プールはいきいきランドへのバスでの送迎や別途室内温水プールの整備も含めて今後検討する案が示されました。

「新たな提案」は施設一体型小中一貫校と変わら

この「新たな提案」は、グラウンドの狭さやプールへの徒歩の移動などへの保護者の不安を改善するとしています。これまでの施設一体型小中一貫校の計画そのものは変更せずに進めるといっています。



さらがい ふみ  
星田 7-44-21  
☎894-2835



藤田 まり  
私部 6-17-1-209  
☎397-3027



北尾 まなぶ  
倉治 7-8-7  
☎893-3163

き、最終的に今年度中には方向性を決めていきたいとしました。

市長は公約を守り、「小中別の整備」の提案を

市長選挙では、施設一体型小中一貫校の計画そのものを見直してほしいという市民の願いをうけ、山本市長が「小中別の整備」を公約に掲げ、当選しました。

日本共産党は、市長は公約にもとづき「小中別での整備」について議会に正式な提案を行うこと、また施設一体型小中一貫校や小中分離での整備について教育的な視点から改めて検証することを求めました。

